

## 知事コメント（ワクチン接種に関して）

令和3年8月30日  
沖縄県保健医療部

本日は、新型コロナウイルスワクチン接種の新たな取組について発表いたします。

その前に県立武道館における接種再開についてご報告いたします。

異物の混入により使用を見合わせていたモデルナワクチンについては、昨日、厚生労働省からワクチンの品質には問題はないとの調査結果が示されたことを踏まえ、同ワクチンを用いて接種を再開することといたしました。

引き続き、関係機関と連携して、接種の安全性の確保に努めてまいります。

それでは、新型コロナウイルスワクチン接種の新たな取組について発表いたします。

まずは、県の設置するワクチン接種センター3施設における接種対象年齢の引き下げについてご報告いたします。

国がモデルナ社製ワクチンの接種が可能な年齢を「18歳以上」から「12歳以上」に引き下げたことに伴い、県においても、接種の機会を提供する観点から、現在、県が設置・運営していますワクチン接種センター3施設において、これまでの「18歳以上」から「12歳以上」に引き下げることといたしました。12歳から15歳までの接種にあたっては、保護者に丁寧な情報提供を行う必要があることから、保護者の同伴が必要となります。

10代及び10代未満の方が新型コロナウイルスに罹患する例が多くなっている状況で、未だ11歳以下については接種はできませんが、対象年齢を引き下げることによって、感染症対策の切り札となるワクチン接種を、早期に、希望するすべての方へ接種できるよう全力で取り組んでまいります。

なお、ワクチン接種の強制や、接種を受けていない人への差別につながる行為、誹謗中傷や同調的な圧力を覚える言動などは差し控えていただきますようお願いいたします。

次に、県設置の接種センターにおける、ワクチン接種の更なる加速化について報告いたします。

この度、国と調整しておりました、モデルナ社製ワクチンについて、先日、ワクチンの配分を増加する旨の連絡がありました。

沖縄コンベンションセンターと県立武道館に設置しております接種センターにつきましては、両会場とも、週あたりそれぞれ4,500回分を接種しておりましたが、週最大7,700回分の接種が可能となりました。

このことにより、平日はこれまでの1日あたり、500回接種から、最大700回接種へ、うち、水曜と木曜については、開設時間をこれまでの18時から3時間前倒しし、15時から21時までの間、最大1,400回分の接種を行うことといたします。土日は1日あたり、1000回接種から最大1400回接種へと拡大することとしております。

那覇クルーズターミナルに設置しております接種センターにつきましては、これまで、エッセンシャルワーカー等へファイザー社製ワクチンを活用し、週3,500回を接種しておりましたが、今後は、モデルナ社製ワクチンが提供されることとなったことから、当該ワクチンを活用し、週最大10,500回を接種することが可能となりました。

これに伴い、対象を全県に拡大し、従前のエッセンシャルワーカー等に加え、一般受付を開始することといたしました。

なお、予約受付は、9月3日から開始し、6日から接種を実施することとしております。

次に、若年層への優先接種につきまして、ご報告いたします。

県内における新型コロナウイルスワクチンの接種について、若年層の接種を加速化するため、沖縄コンベンションセンターと県立武道館の接種センターそれぞれにおいて、県内在住の20歳以上39歳以

下の方へ、9月8日からの水曜と土曜の15時から100名、18時から100名の合計200名に対し、優先接種を開始いたします。

各施設とも、整理券配布による当日受付とし、整理券を、当日の14時半と17時半からそれぞれ先着100名に配布いたします。

対象の皆様につきましては、接種券と予診票、身分証明書を必ずご持参の上、是非ご活用いただければと思います。

詳細につきましては、県ホームページに掲載いたしますので、こちらをご確認ください。

県としては、感染拡大による災害的な現状に対し、入院病床や宿泊療養施設の確保、自宅療養者へのフォローアップ体制の拡充など、医療提供体制の整備を支援するとともに、今後とも、ワクチン接種の加速化を推進し、早期の緊急事態の解除に向けて全力で取り組んで参ります。

身近に陽性者がいた方や濃厚接触者が検査を受けやすい環境を整えるため、中部地区に「接触者PCR検査センター」を設置します。

場所は、沖縄市比屋根の沖縄県総合運動公園、守礼門側入口から入った中央口駐車場にて、ドライブスルー方式で検査を受け付けます。

検査受付は9月1日（水）から開始し、受付時間は13時から19時半で、予約は必要ありません。

検査を受けることができるのは、身近に陽性者と接触があった方や濃厚接触者が対象となります。

なお、行政検査としての検査になりますので、費用負担はなく、無料で検査を受けることができます。

検査数は、当面1日当たり200名とし、混雑を避けるため、整理券の発行を検討しております。